

研究フォーラムの初日は、基調講演とパネルディスカッションでした。基調講演

「地方議会改革」

講師 西尾勝氏(公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長)

地方議会の課題として、短期：議会招集権、中期：議員構成の改革、長期：個別利益の仲介・斡旋活動からの脱却がある。日本の政治文化をいかに変えて行くか真剣な議論を要する。

パネルディスカッション

住民自治の実現と地方議会への期待

コーディネーター

宮脇淳(北海道大学公共政策大学院教授)

パネリスト

片木淳(早稲田大学公共経営大学院教授)

大山礼子(駒澤大学法学部教授)

人羅格(毎日新聞論説委員)

三井幸雄(旭川市議会議員)

議会が何をしているのか住民がわかることが大前提。メディアは議員の活躍をきめ細かく報道できない仕組みになっている。

議会と住民の信頼関係がない中で定数・報酬の削減を言われる。「議会なんかいらぬ」という声もある。身近な代表と想ってもらうにはどうすればいいのか考え実行する。小さいことから改革していったら、ガラッと変わることもある。

2013年度予算要求の回答書(その⑩)
今回は、10 国際平和・非核宣言都市としての事業推進を、11 「神奈川県緊急財政対策」に抗して県民市民のくらしを守るためにです。

10 国際平和・非核宣言都市としての事業推進を

① 市民の平和活動を支援し、市民参加の平和事業を推進すること。8月を中心にした平和月間を設けること。

本市におきましては、今年度は8月3日から15日までの期間、厚木市ヤングコミュニティセンターにおいて、広島・長崎の原爆被害に関連する写真の展示や、8月13日から15日までの期間におきましては、戦中及び戦後の国民の生活上の労苦の伝わる実物資料の展示を行いました。

また、戦争により家族を亡くした遺族の思いを伝えるため、12月8日から14日までの期間、厚木市総合福祉センターミニギャラリーにおきまして、厚木市遺族会の皆様が保存されている遺品等の資料の展示を行いました。

平成25年度においても8月に平和パネル展の実施を計画しております。国際平和と核兵器廃絶を求める都市として、今後も市民の平和に対する理解を深めてまいりたいと考えております。(福祉総務課)

② 厚木市の国際平和・非核宣言を、広く市内外に周知するために、駅周辺や行政区境に宣言塔を設置すること。

厚木市におきましては、厚木中央公園に「国際平和と核兵器廃絶を求

める都市宣言“あつぎ”」の宣言に係る看板を設置しております。また、本庁舎をはじめとした市内公共施設に平和都市宣言啓発パネルを掲示しております。今後も市民の皆様の平和に対する理解を深めるため、周知に努めてまいりたいと考えております。(福祉総務課)

③ 平和市長会議に加盟している自治体として、憲法第9条を守るよう、国に働きかけること。

憲法9条の保守に関しましては、国の動向を見守ってまいりたいと考えています。(福祉総務課)

11 「神奈川県緊急財政対策」に抗して県民市民のくらしを守るために

① 神奈川県が自治体本来の仕事を行わせるよう、責任を果たさせること。

神奈川県緊急財政対策の主な取り組みとして掲げられている項目の中でも、「県有施設の見直し」や「県単独補助金・負担金の見直し」については、市民の方々を始め、本市にも大きな影響があるものと認識しております。

厳しい財政状況は神奈川県と同様でありますので、見直しにより、市民サービスの提供や市の財政運営などに支障を来たすことがないよう、神奈川県に強く申し入れをしていますところ。(企画政策課)

(企画政策課)



「津波被災前・後の記録(宮城・岩手・福島 航空写真集)」 「みやぎの海辺 思い出の風景(航空写真集 2011・3・11を境に)」

ここに2冊の写真集があります。いずれも宮城県仙台市に本拠をもつ河北新報社の発行。3・11東日本大震災の被災地の状況を、津波の前後の航空写真で紹介しています。ほとんど状況の説明はありませんが、それだけに津波の前・後の落差が激しく迫ってきます。表題の「・」がその思いを表しています。以前は整然と並んでいた住宅が、根こそぎ茶色に変色しているのを見ると、その中で営まれていた人々の生活が偲ばれます。

特に「前・後の記録」は、被災前、直後、6ヶ月後、1年後と、被害の状況と1年たってもほとんど復興していない様子が歴然とわかります。郷里がある人、かつてこの地方に住んでいた人々にとっては、故郷のあまりの変貌に、慄然とした思いに駆られるのではないのでしょうか。



話題あれこれ

イナゴの佃煮

下の写真、あまりよく見えませんが「イナゴの佃煮」です。足が少し見えるでしょう。

これは妻田の田んぼで捕まえたイナゴを佃煮にしたもの。毎年、イナゴを捕まえてきて、足や羽を取り、熱湯をかけてから天日に干し、佃煮にするそうです。最初は「気持ち悪い…」と言っていた人も、甘辛い味とカリカリとしたその食感に「これはうまい！」

